

## 事業概要書

事業名	福祉的避難所における避難所運営及び健康改善プロジェクト				
開始日	2018年10月1日	終了日	2018年12月31日	日数	92日
団体名	非営利活動法人 九州キリスト災害支援センター 看護部				
(カウンターパート)	倉敷市、災害看護支援機構、岡山グリーンコープ、ほか				
担当者名	山中弓子	スタッフ人数	2名		

事業費総額 (税込)	960,000 円
CF 事業枠	960,000 円
その他資金	円

事業目的	<p>福祉的避難所の運営を倉敷市と連携し行うことで、行政の負担を減らすとともに、避難者の要望を行政へ繋ぎ避難生活の環境改善を図る。</p> <p>避難所での偏りがちな食生活はその後の災害関連死に繋がるため、専門職としての知識や技術をいかし、疾患や体調に応じた栄養改善に取り組み、避難所後の健康や生活を見据えた看護活動を行う。</p>
	<p>●九州キリスト災害支援センター (略：九キ災) とは</p> <p>*九州キリスト災害支援センター本体は、昨年発生した熊本大分地震当日より支援活動を開始し、2016年4月18日に災害支援団体として創立したキリスト教基盤の災害支援団体。熊本県内、大分県内などの各地でボランティアコーディネート、物資支援、がれき撤去、家屋の片付け、農業ボランティア、コンサートなどのイベント実施、炊き出し、避難所支援、避難所閉所時のサポート、民間合同ボランティアステーション設立協力などをおこなってきた。熊本県益城町からの受託により仮設団地自治会の支援を継続して実施している。2018年4月にNPO法人を取得。国内の災害のみならず、韓国やアジア諸国で発生した大規模災害への支援もおこなっている。</p> <p>●看護部の活動 (2016年4月20日以降～熊本市内、益城町、南阿蘇、福岡県朝倉市等)</p> <p>内容：専門職ボランティアの募集及びコーディネート (医師、保健師、助産師、看護師PT、OT、各種セラピスト、保育士等)、医療機関及び高齢者施設や避難所への専門職派遣支援、各所での健康相談会、避難所への巡回 (健康支援、衛生管理、環境整備、運営サポート、物資及び備品整備、出張沐浴)、避難所開設サポート、高齢者団地の安否確認及び健康管理支援、車中泊のエコノミークラス症候群対策支援、熱中症対策支援、母子及び育児支援、子どもケアプログラム、ぬいぐるみプロジェクト、タッチケア、仮設訪問 (生活支援相談員)、仮設自治会支援、在宅避難者村落個別訪問、ホイッスルライトの配布、諸機関及び諸団体との連携支援、看護学校等への災害看護講師など</p> <p>●岡山県倉敷市真備町での活動について</p>

まきび荘（福祉的避難所）について：

高齢者や高血圧、発達障害児とご家族など、配慮の必要な避難者の受け入れを行なっている避難所。避難所集約時の最後まで残る予定の避難所。避難者数 43 名（うち 18 歳以下 10 数名）9/21 現在

九キ災と災害看護支援機構で保健師、助産師、看護師等の専門職を確保し 24 時間体制でまきび荘に常駐。

福祉避難所について：

高齢者、障害者、乳幼児等配慮を要する方々が円滑に利用でき、相談や支援を受けることができる体制が整備されている避難所。

参考 [福祉避難所の確保・運営のガイドライン]内閣府防災担当

[http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo\\_hukushi\\_guideline.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_hukushi_guideline.pdf)

経緯：

倉敷市を訪問した際に市より 8 月 15 日に開設した福祉的避難所の運営と看護活動を担当してほしいとの要請があり、災害看護協会とともに運営サポートと看護活動を行なう運びとなった。

協力団体：

復興支援チーム フレンドシップ（お茶会実施）、災害支援ネットワークおかやま、カフェ ぱんだとダパン（野菜一品料理等の炊き出し）、高知県立大学（看護系学生のボランティア等）、医療保健福祉提供体制支援プラットフォーム KuraRA：（Kurashiki area Medical & Care Reconstruction Association）

#### ●取り組むべき課題

・避難所運営に市職員、市町村からの応援職員が入っているが、其々に疲労が見られていた。また、市職員は通常の業務もあるため、交代制で避難所運営に入らざるを得ないことは想定できていたため、避難所運営経験のある当団体が支援することとなった。

・倉敷市の避難所が開設されて以降、朝昼晩の食事は市から提供されているが、朝昼はパンとおにぎり、夜は弁当という食事が続いている。同じ種類が交代で続くため、栄養の偏りが懸念される。まきび荘が避難所として開設されて以降地元のお店やグリーンコープからの協力により、避難所内の調理室を使用し野菜のメニューを一品追加で炊き出しているが、糖尿病の方に配慮した食事（特に主食の糖質制限）の提供は困難である。

また、当事者は遠慮して要望を出してくることがない。避難所での不摂生がその後の生活にまで影響を及ぼすことを、過去の災害支援の経験から学んでいたため、避難時にも疾患や年齢、体調に配慮した食事の必要性を感じている。現在は、グリーンコープから自社の過剰分野菜を無償で提供いただいている。災害時には食の面で毎

回ご協力いただいております、良い連携体制を築けている。協力団体に対して、高血圧や高脂血症を配慮した減塩食や低脂肪食、糖尿病を配慮した低糖質の食材などの必要性や提供方法について本事業の取り組みも共有し、今後の災害に向けていかしていただくことも期待している。

●パートナー協働プログラム対象事業

① 福祉的避難所の運営と避難者の疾患に配慮した生活環境の改善

- ・ 福祉的避難所の運営を倉敷市と連携し行うことで、行政の負担を減らすとともに、避難者の要望を行政へ繋ぎ避難生活の環境改善を図る。
- ・ 健康の保持、安心、安全、快適性を配慮した環境整備、保健衛生面への配慮、メンタルケア、情報管理など日々の生活が快適に送れる様に危機管理に十分配慮したケアを展開する。
- ・ 要支援者が次の生活へ移行する際に必要な情報を福祉や行政につなぐことで支援から漏れることを防ぐ。
- ・ 災害支援経験、避難所運営経験、仮設団地の自治会運営支援経験のある看護師が介入することにより、今後発生が予想される病症についての対策や、取り組みについて共有し、行政や地元団体の自主的な活動を補佐する。

②福祉的避難所内における健康増進と栄養改善のプロジェクト

- ・ 支援団体や地元住民のボランティアなどと協力し、栄養を補完する野菜などの料理を提供する。頻度は週 3～5 日を想定。
- ・ 高血圧の避難者には食事提供の際、減塩味噌や減塩醤油、減塩だしなどを用いたものを提供する。カップ麺を食している避難者も多いため、減塩や低カロリーの物に置き換える、乾燥野菜を追加すること等をすすめ、ストレスなく食事の改善を促す。
- ・ アレルギーを持つ避難者への代替え食品での対応
- ・ 栄養に関する啓蒙活動

体制：

- ・ 看護部代表の山中が避難所内の救護支援と調整に入る。
- ・ 山中の交代及びサポート要員として事務連絡作業やスケジュール管理などを補佐する看護師を 1 名雇用する。(9 月末までボランティアとして避難所で活動)
- ・ 熊本地震や九州北部豪雨の際に協力を得た支援団体やボランティアの協力を得て、避難所でのイベントや日程調整などコーディネートする。
- ・ 支援者情報共有会議に出席し協議を行なう。

実務：

- ・ 避難所での要救護者への看護師による対応。
- ・ 災害による慢性疾患の増悪、心に傷を受けた被災者の援助及び療養環境の整備。
- ・ 避難所で発生が予想される病症の予防対策と啓蒙。

- ・感染症（食中毒・呼吸器疾患・破傷風・ガス壊疽など）予防対策と啓蒙。
- ・ナースコールの設置。
- ・子ども支援団体やプログラム、被災者同士の交流プログラムの誘致
- ・衛生管理及び環境整備（トイレ、洗面所、食品関連、転倒リスク箇所等の改善）
- ・被災前の自立した生活に近づける様に保健師、地域包括支援センター、行政、医療関係者と連携を図り、避難所解消後の支援に繋げる。

●行政との連携

- ・避難所駐在の倉敷市職員、応援市町村職員と連携。情報の引き継ぎ。
- ・支援者情報共有会議及び分科会に出席。
- ・栄養改善食の提供状況や情報などの引き継ぎ

●期待される効果

- ・避難者の疾患や体調に配慮した食事は行政では対応が難しいため、看護師の視点で栄養面をサポートすることにより、疾病の重症化を防ぎ、新たな疾病の発症を防ぐことが出来る。
- ・継続的な支援によって、人々の心身の健康を維持することは被災した生活を取り戻すことや地域が復興していく為にも必要であり、災害関連死の予防ともなる事が期待される。
- ・専門職間や他職種、諸機関、諸団体と連携する事で被災者及び被災地域に対し、より適切、的確な支援を提供することに繋がり避難所解消後の支援に繋がる。

事業内容(事業種別（コンポーネント）ごと)	裨益者（誰が、何人）
① 福祉的避難所の運営と避難者の疾患に配慮した生活環境の改善	福祉的避難所内の避難者数：約 180 人
② 福祉的避難所内における健康増進と栄養改善のプロジェクト	福祉的避難所内の避難者数：約 180 人（受け入れ可能避難者数 60 名×3 ヶ月）